特定非営利活動法人

ほしのくま

発行：ＮＰＯ法人 星のくま
住所：雲仙市愛野町乙2336−1
TEL：0957−36−7575
FAX：0957−36−7576
URL：hoshinokuma.com
発行責任者：磯田 正也

ほのぼのと　しあわせになろう
のんびりと　くじけるな　まけるな！





「これからも一歩ずつ」

「特定非営利活動法人星のくま」も今年で七年目の春を迎えることが出来ました。此れも一重に「星のくま」の各事業所を利用して頂いている利用者様、ご家族の皆様、地域の方々、関係諸団体の皆様方の温かいご支援やご指導の賜りと深く感謝しております。

さて、時代も「平成」から「令和」に変わりゆく中で、福祉・医療施策も大きく変化し、今迄の価値観や技術・方法では、対応できない時代が来るのではと推察されます。

その中で一歩ずつ進歩して行く為には、まず第一に事業所の事業計画は基より、各活動班や委員会、研修等において、計画性・効率性、生産性等を重視するために「ＰＤＣＡサイクル」を活用することで適切な支援や充実した活動ができるようになると考えます。

又、福祉の現場では、サービスを受ける方の体調の変化や持病による急変、誤食・誤飲や転倒など様々な危険が隣り合わせであり、その為に怪我やトラブルを防ぐためのリスクマネジメントが支援の中で常に求められます。

現在、星のくまＱＣ活動を通して、業務中の「気づき」を「ヒヤリ・ハット」として挙げ、全職員が把握し、「重大な事故・怪我」に繋がらないよう、日頃より取り組んでいるところであります。

今後も「目配り・気配り・心配り」を実践し、安全性の重視に取り組んで行きたいと思っております。

特定非営利活動法人　星のくま
理事長　磯田　正也

ワークセンターあいの

自分の夢に向かって成長を！

「ワークセンターあいの」で実施している就労継続支援B型事業は、今年度で七年目となり、今迄は事業所内作業を中心に生産活動を行ってきましたが、昨年七月より市内食品会社にて、施設外実習を週二回実施することで利用者さんへの工賃支給額も増加して来ています。今年度は、実施している生産活動において更に計画性や効率性・生産性を高め平均工賃目標を二万円と設定し、目標到達をする事で、地域で豊かな生活を送れる一助として貰えるよう頑張っていきます。

次に、就労移行支援事業は、平成二十七年度八月からスタートし、昨年十二月に、初めて一般企業に就職する事が出来ました。此れは、就職した利用者さんの就職に向けた一途な力があってこそ出来た事ですが、支援者においても、就労移行支援事業のプロセスの理解と実践力が高まって来ている事も一つあげられると思います。昨年に続き、今年も確実に一人以上は一般企業に就職出来る事を目標に取り組んでいきます。

～作業班紹介～

アイロンプレス班





箱折り班





厨房班





加工班







今までの作業に加え、加工班に新たにオリーブの葉摘み作業が加わりました。作業を開始し、４ケ月目になりましたが、皆さんの持ち前の技術で生産も順調に進んでおります。

皆さんの作業に対する熱意が年々増していることが感じられ、これからも職員共に盛り上げていけるよう頑張っていきます！

♪新メンバー紹介♪



米田浩二さん

ご利用から約一ヶ月が経ち、新しい環境にも慣れてこられた米田さん。箱折り作業では「フタ折り、身折りをもっと覚えたい！」と意欲的で、「毎日たくさんの人と交流ができ、とても刺激になって楽しい」とおっしゃっています。

平成31年度 職員紹介

西原 真実　田中 雅美　中村 聡司
町田 恵美子　尾川 悦子　宮内 豊　酒井 直子



チーフ　愛合 奈美
管理者　川口 友紀　磯田 正也
サービス管理責任者　林田 奈美

ケアステーションあいの

新年度あいさつ

生活介護事業では、昨年度よりスタートした「自立生活チーム」「作業チーム」「創作チーム」「リハビリチーム」の四つのチームによる活動を、スタッフがその目的を正しく理解した上でプログラム化し、更に質の高いサービスを提供できるよう努めていきます。中でも、「リハビリチーム」においてはセラピスト（理学療法士・作業療法士）や看護師・介護福祉士等が連携し、個別のリハビリプログラムを実施することで生活の質を高める手助けを行います。また「作業チーム」においては、年間を通してできる作業を確保し、個々に必要な生活支援を行いながら「仕事をする」時間を設けることで生活意欲を高める支援を行います。その他のチームにつきましても、利用者のみなさんのニーズをしっかりと捉え、満足していただけるサービスを提供できるよう、スタッフ一同頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

平成31年度 職員紹介

管理者 サービス管理責任者



田口 陽子

チーフ



林田 陽子

チーフ



木嵜 民子

リハビリチーム

看護師や作業療法士を中心とし、リハビリ・機能訓練を行います。



石島 幸美



岩岡 佐知子



矢﨑 美智子



中里 寛司

作業チーム

クルス箱折りやオリーブの葉摘みなど様々な作業を行ないます。



松尾 陵太



荒木 裕一郎



大久保 英子



宮﨑 一也



黒田 千夏子



南 和博

自立生活チーム

将来自立した社会生活を送るための支援を行います。



宅島 遥



濱田 志帆



出田 遥香

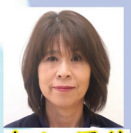


鵜殿 彰博



創作チーム

季節に応じて壁画作りを行い、「アトリエ星のくま」の商品作りも行います。



白山 早苗



塩見 ゆかり

短期入所

短期利用者さまに快適に泊まって頂けるよう支援します。



平山 由佳



森嵜 永子



勝矢 眞由美

新メンバー紹介

今年、高等部を卒業された3名が新たに「ケアステーションあいの」に加わりました。大人の一員として、作業・活動を頑張ります！



リハビリチーム
谷﨑 豊さん

作業チーム
吉田 侑加さん





リハビリチーム
川口 蒼太さん

お花見外出

お花見の季節となった四月。星のくまの敷地に咲いた桜や森山町の桜を見ながら「お花見会」を行いました。「ピンポンパンゲーム」や「山手線ゲーム」などのレクリエーションを行いながら桜を楽しみ、とても盛り上がりました。また、おやつの時間には手作りの「お花見パフェ」を食べ、美味しい！と春の陽気を楽しみました。









キッズステーションあいの

平成の終わりと共に新しいスタートを

放課後等デイサービス事業においては、昨年度より「キッズステーションあいの」と「アクティビティセンターあいの」の二つの事業所で、子ども達のライフステージを見据えながら支援を行なっています。キッズステーションあいのにおいては低学年の子どもを中心に、保育士・作業療法士・児童指導員の役割を明確にし、集団及び個別療育を更に深めていきます。また、その為の有資格者の確保やスタッフの研修を強化していきます。

アクティビティセンターあいのにおいては高学年の子どもを中心にコミュニケーション力を高め、様々な社会体験を通してより豊かな地域生活が送れるよう支援していきます。特に昨年度より専門の講師を招聘し、将来自分や周りの人を大切にできる人に成長してほしいと願い「こころとからだ」の学習を段階的に行っています。

おかげさまで今年度もピカピカの新一年生を四名迎え、賑やかにスタートすることができました。「家族に寄り添いながら、

とうございます



等デイサービスから2名の卒業生

も嬉しく思う反面、巣立っていく
り返ると、沢山の時間をみんなで
が溢れていたこと、その1日1日
ました。
悩むことも沢山あると思いますが、
進んで下さい。応援しています！

島原市舞岳山荘外出

4月3～5日の3日間に分かれて、はじめて「舞岳山荘」へ行きました。青々とした大空の下、草スキーをしたり、遊具で遊んだりと元気いっぱい楽しみました。



新しいお友達

ピカピカの1年生ですっ！



年度 紹介



キッズステーションあいの
管理者兼児童発達支援管理責任者
田口 陽子

保育士
里見 規子

指導員
山田 次男

保育士
児童支援統括
川井 由美

児童指導員
平山 由佳

児童指導員
吉田 健人

保育士
本多 邦子

児童指導員
斧 麻由子

作業療法士
中里 寛司

看護師
矢﨑 美智子

保育士
佐藤 美穂

アクティビティセンターあいの

長崎県庁・スケスケ展外出

4月4日(火) 桜がキレイに咲く中、天候にも恵まれ県庁の真新しい建物に子ども達のわくわく感が職員にも伝わるほどでした。

県庁の展望台で長崎の町並みを一望し、食堂ではそれぞれが選んだメニューを頂きました。





長崎歴史文化博物館で開催されている「スケスケ展」では、様々な物が透けて見え、楽しんだと共に仕組みを学ぶことができました。「体験・学ぶ・楽しむ」をそれぞれが感じられた外出となりました。







Spring Memory





ボウリング外出！

アクティビティセンターあいの
管理者兼児童発達支援管理責任者
磯田 正也



家族に寄り添いながら子どもの発達に応じた支援を行う」の基本方針のもと、子ども達の成長を楽しみに、スタッフ一同頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。



卒業おめで



今春、星のくま放課後等が新しい道へ進みました。

卒業を迎え、私達職員ものは寂しいものです。振り過ごし、沢山の「笑顔」がとても大切な物となり新しい道は躓くことも自分のペースで頑張り、

平成 31 職員

グループホーム星のくま1号館

新年度あいさつ

グループホーム星のくま一号館は平成二十六年五月に開所し、今年で六年目を迎えます。現在男性五名、女性四名の計九名の方が入居されております。

入居者の皆様はグループホームで生活しながら、自分で出来ることやしたいことを増やし、毎日を安心して生活することを希望されております。私たち職員は入居者様が病気をすることなく、笑顔で楽しく過ごして頂けるように入居者様に寄り添いながら、入居者様の身体的機能や生活能力の向上に励み、また職員自らも自己研鑽を行いながら安心・安全に毎日を送れるよう、個々に合った支援を行なってまいります。

毎週日曜日に行う奉仕活動（クリーンウォーク）などを通し、地域の方々との繋がりも大切に、笑顔が絶えない明るく元気なグループホームを目指していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

春の外出へ in島原 行ってきました

男性グループ







国見町にあります「鍋島邸」へ行きました。歴史を感じる立派な門構えの邸宅とその庭に咲く満開の「緋寒桜」を見て、江戸時代にでもタイムスリップしたような気分を味わいました。その後、島原の春の風物「初市」に行き、たくさんの露店を楽しみ、昼食は「ホテル南風楼」さんでちょっぴり贅沢な和定食を味わって、有意義な一日を過ごすことができました。

女性グループ



「グレートダイニング城見」さんへ昼食外出に行ってきました。到着するとテーブルには旬のプレートや御造りの刺身といったご馳走が並んでおり、その後一品ずつ出てくる食材を味わいました。最後のコーヒーを飲み終えた頃には、全員が満足した様子を見せ、「また来たい」と笑顔で話されていました。オシャレで、品のある貴重な体験となりました。



平成31年度 職員紹介

管理者	サービス管理責任者
	
平野 嘉子	溝田 民弘


北尾 美紀


勝矢 眞由美


藤田 裕美子


上田 真知子


竹川 千代子


宮崎 一也


石島 幸美


高橋 亮子

おやつ作り



いちごとバナナのミルクが



キレイに焼けたよ！

ちょっと小腹がすいたとある休日の午後。「たまにはおやつを作ろう！」と皆でホットケーキと春の果物が入ったスムージーを作りました。旬の「イチゴ」をメインに、春らしいおやつが出来ました。小腹も満たされ、自分たちで作ったおやつは格別に美味しく、とても幸せな時間になりました。

第4回　星のくま運動会

～頑張ってる君の姿に金メダル～

平成31年3月9日、第4回星のくま運動会を開催いたしました。利用者さまもお正月過ぎから披露するダンスの練習や小道具などの準備を通し、まだかまだかと待ち遠しく、楽しみにしてくださっていました。本番の運動会では、一生懸命走る姿、ボールを必死に投げる姿、チームの皆で協力する姿…たくさんの「金メダル」級の姿が見られました。

今大会も多くの保護者様、学生ボランティア、関係機関の方々をはじめ、雲仙市内の放課後等デイサービス事業所の子ども達にも参加して頂きました。今大会もケガなく、無事に終えることができましたことに感謝申し上げます。















みんなで協力！

親子でハイチーズ！　今年もたくさんのご家族にご参加頂きました！！





たくさんのご声援、ご協力ありがとうございました

日産 e-NV200 2年間の軌跡

2nd ANNIVERSARY

２０１７年３月に、日産自動車株式会社さまより3年間無償貸与いただいた電気自動車『e-NV200』も2周年を迎えて、最近ではすっかり日常の一部になりました。

今回は、昨年の1周年と比べ、どれくらいのエコが進んだのか、毎月の「EVレポート」をもとに振り返ってみたいと思います。

	昨年	今年
総走行距離	『11,853km』 日本から南極大陸までと同距離！	『23,518km』 地球半周を超えました！
総電費	『6.15kwh』燃費換算で42.2km/L 送迎に使用してこの電費！	『6.10kwh』燃費換算で42.3km/L 変わらず安定した低電費！
総CO2削減量	『1,209kg』 杉の木８５本が１年間に吸収するＣＯ２量に相当！	『3,504kg』 杉の木２５０本が１年間に吸収するＣＯ２量に相当！

ゼロ・エミッション × 低ランニングコスト



当ページの写真の一部は日産自動車株式会社ホームページより引用しております。引用元URL http://www.nissan.co.jp

平成三十一年度 辞令交付式

四月一日、七回目となる辞令交付式が執り行われました。今回理事長より職務辞令を受けた職員は五十八名、平成二十五年の法人開設時に比べると約十倍の職員数となりました。理事長訓示では、今年度中に法人格を変更し移行するという大きな目標を述べられ、いつも以上に身が引き締まる思いがする辞令交付式となりました。また、昨年度より力を入れている職員の資質を高めるための資格取得に向けての取り組みは、全職員の約六割が何らかの国家資格を有するまでに成果を得ることができました。



続いて事業部長による各事業所の事業方針及び事業計画についての説明がありました。就労系サービスであるワークセンターあいのにおいては、利用者様が安定して通所できることを第一の目標としながら、月の平均工賃を二万円に引き上げること、昨年同様一名を一般就職へ繋げることを目標に掲げました。



介護・宿泊系サービスであるケアステーションあいの、星のくま一号館においては、「利用者様主体・本位のサービスについて」より突き詰めていくこと。ご本人の意思決定の場面や活動における直接支援の場面だけでなく、もっと多角的に物事を捉え拘っていくこと。そして、職員ひとり一人がボトムアップで事業計画に基づいた活動内容を考え、サービスの質を高めていくことを目標としました。







放課後等デイサービスであるキッズステーションあいの、アクティビティセンターあいのにおいては、保育士や作業療法士等の専門職の配置をより手厚くすることにより、個別・集団による療育の目的を明確にし、ご家族の思いに寄り添った支援を行う事を目的としました。



昨年度より職員の資格取得を後押しするために介護福祉士実務者研修を積極的に取り入れたことによる職員全体の資格取得に向けた意識の高まりと、昨年度の離職率０％の実績により、「継続は力なり」の言葉通り経験がプラスされ、ひとり一人の力は確実に向上していると確信します。私たちが大切にするのは利用者様・ご家族様であるとともに同僚（職員）であることを職員間の合言葉として自己研鑽に努めてまいります。七年目を迎え「星のくま」を誉めてくださる言葉もいただけるようになりました。しかし一方で厳しいご意見も決してゼロではありません。心地よい言葉だけでなく厳しいご意見も宝としながら、多くの情報がキャッチできるよう心にゆとりをもっていきたいと思いますので、本年度もどうぞよろしくお願い致します。

ほのぼのと
しあわせになろう
のんびりと
くじけるな！
まけるな！！





編集後記

新年度が始まり、通学路には体よりも大きな真新しいランドセルを背負い、登校する子ども達にほっこり春の季節を感じる日々です。

さて「平成」の時代も残すところあと五日。今号が「平成」最後の号となります。平成元年生まれの私は時代の終わりを切なく感じながら、新たな時代「令和」に向けて身を引き締めていこう！と思う今日この頃です。

今回は新年度の各事業所の挨拶、職員紹介を始め、春ならではの行事活動を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

星のくま　広報部

『旬な話題』をお届け中！

homepage　facebook　Instagram

ホームページURL http://hoshinokuma.com/